

会 議 録

(8-1)

会議の名称		令和8年度 第1回粕壁地区地域づくり推進協議会	
開催日時		開 会	午前10時00分
		閉 会	午前11時30分
開催場所		春日部市役所 ひだまりホール	
議長(会長等)氏名		会長 白石 昌三	
出席者	委員氏名	(出席人数：12人)	
		白石 昌三、飯山 雅一、松永 彰、津山 宏一、持地 則雄、大平 一義 大貫 義信、藤間 眞白、五十嵐 真、石川 貴雄、加藤 輝彦、鈴木 浩子	
		(欠席) 笹津 駿輔	
	説明者その他	なし	
事務局	事務局	(出席人数：7人)	
		市民生活部長 篠原 直樹、市民生活部次長 小峯 崇弘	
		市民生活部参事 清水 一男、粕壁地区センター所長 角田 尚之	
		粕壁市民センター主幹 山下 剛史、粕壁市民センター 大澤 恵太、小林 奈穂	
次第及び公開・一部公開・非公開の区分		1 開会 2 委嘱状交付 3 新委員紹介・職員紹介 4 会長及び副会長の選出 5 報告事項 (1) 令和7年度粕壁地区センターの利用状況について (2) 令和7年度粕壁地区地域づくり推進協議会の協議結果について 6 協議事項(意見交換) (1) 令和8年度粕壁地区地域づくり推進協議会の進め方(案)について (2) 地域防災+文化・交流イベント実施のための具体的な手法の検討について 7 その他 8 閉会 ※(すべて公開)	
一部公開・非公開の場合はその理由		☐ 要綱第3条第1号該当： ☐ 要綱第3条第2号該当： ☐ 要綱第3条第3号該当： ☐ 要綱第3条第4号該当：	
配布資料			
会議録の作成方法		☐ 録音テープ等を使用した全文記録 ☒ 録音テープ等を使用した要点記録 ☐ 要点記録	
会議録署名の指定		会議録の署名は、会長から指名を受けたものが実施する。	

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
	【 1 . 開会】
事務局	会議を公開する旨の報告、傍聴希望者なしの報告。
	【 2 . 委嘱状交付】
事務局	新委員 持地委員、大平委員
	【 3 . 委員紹介・職員紹介】
事務局	新委員あいさつ・職員紹介
仮議長	【 4 . 会長及び副会長の選出】仮議長：市民生活部長 現在、本協議会は会長不在のため、会長選出まで市民生活部長に仮議長をお願いしたい。
委員	異議なし
仮議長	会長の選出について、春日部市地域づくり推進協議会条例第6条に 「委員の互選によりこれを定める」とある。会長選出は委員の互選 とのことで、皆様の中から立候補または、推薦をいただきたい。
委員	白石委員を推進したい。
仮議長	白石委員を会長に推薦する旨の意見があったが、皆様いかがか。
委員	異議なし
仮議長	「異議なし」とのことで白石委員を会長に選出する。会長が選出された ので、仮議長の職を解かせていただく。※市民生活部長
会長	白石会長 挨拶
事務局	春日部市地域づくり推進協議会条例第 6 条の規定により、白石会長に 議長をお願いする。
議長	副会長について、春日部市地域づくり推進協議会条例第 6 条の規定に より、会長同様「委員の互選により定める」こととなっている。 立候補または、推薦をいただきたい。
委員	藤間委員を推薦したい。
議長	藤間委員を副会長に推薦する旨の意見があったが、皆様いかがか。
委員	異議なし

副会長	藤間副会長 挨拶
議長	議事録署名人として五十嵐委員を指名。
議長	【５．報告事項】 報告事項（１）令和７年度粕壁地区センターの利用状況について事務局から求める。
事務局	＜資料に基づき説明＞
議長	報告事項（２）令和７年度粕壁地区地域づくり推進協議会の協議結果について事務局から求める。
事務局	＜資料に基づき説明＞
議長	【６．協議事項（意見交換）】 （１）令和８年度粕壁地区地域づくり推進協議会の進め方（案）について （２）地域防災＋文化・交流イベント実施のための具体的な手法の検討について
事務局	〈スライドにて説明〉
議長	各委員より意見を求める。
委員	防災と文化交流として実施するので、春日部親善大使であり気象予報士の平井さんなどと呼ぶことにより、人を呼び込めると考える。 また、人を呼び込むために太鼓の団体などに依頼するのも一つの方法だと考える。
委員	先ほど、事務局より説明があったが市民センターまつりの中で、一緒にやっていくことを想定しているのか。
事務局	先ほど説明させていただいたのは、公民館で実施している事業として（案）として紹介したものであり、この事業以外、協議会独自としての事業開催でも可能。
委員	それでは、協議会独自でイベントを実施するよりは、公民館まつりなど抱き合わせての事業がよろしいかと思う。また、消防車 特にはしご車などに公園に来てもらうことより、こどもたちも呼び込めると思われ、親御さんも一緒に来られると思う。 イベントでは、過去の大きな地震などの体験談など講演なども検討してみるのも一つの方法だと思う。

委員	昨年にイオンモールで防災に関わる車中泊の体験イベントに参加してきた。その際、車中泊が難しい方はイオンのホールも開放し、宿泊できるようにして実施していた。私が考えているのは、八木崎公園にレジャー用などのテント持ってきて実際に、公園に泊まって体験してもらう方法。また、テントでは難しい方は、ホールや展示室でも宿泊できる体制をとり、実際の災害を想定しての体験することを提案する。
委員	説明のあった利用実績で粕壁地区は、地区センターの利用状況として自治会が1件の利用となっているが、この数字は自治会利用が1回だけという意味か。
事務局	おっしゃるとおり、実際の利用が1回となっている。
委員	テーマとして防災となっているが、市の担当課と調整してあるのか。
事務局	本日、ご意見を伺った結果を踏まえ担当課と調整していきたい。
委員	中学校では合唱団が有志として活動しており、10月25日であれば、生徒の参加は可能だが、バスでの送迎などをお願いしたい。 絵の提供については防災に限られると難しいが、防災の指定がなければ提供は可能。
委員	子どもたちが楽しめるイベントを開催してほしい。地震体験車など。子どもたちが参加することにより、親御さんも来ることができると想定される。防災に限ってのポスターの提供は難しいが「未来のかすかべ」といったテーマ設定での絵画の提供は可能。また防災としての「書」も可能。しかしながら、子どもたちが中央公民館まで来る手段として、学区から遠く、厳しいため、例えば東武鉄道にご協力いただき、その日は一ノ割駅から八木崎駅まで、無料で乗れるとなると、子どもたちも参加しやすいのでは。
委員	市民センターまつりと一緒に事業を進めることに賛成。春日部高校の生徒さんに協力をいただくのも良い手段と考える。市では民間企業と防災の協定を結んでおり、このイベントの際に来てもらい、この協定で企業が一体、何をしてくれるのかなどのお話をを伺うなどすることにより、粕壁地区の方々にとっても、企業が災害の時に何をしてくれるのかを理解しやすくなる。
委員	先ほどの災害を想定しての体験との意見がすごく魅力的だと思う。時期も良いと思うので「いざ」となった時に必要なことだと思う。
委員	私も同じで、非常におもしろそうで良いと思う。さらに、訓練の前段階として、有事の際の市の役割、動き、自治会の役割などを説明してもらった上での避難所開設訓練なども良いと思う。また豊野地区では防災に力を入れているので、豊野地区の方を呼んで先行事例の話を聞くのも良

	い手段だと考える。
委員	災害は、いつどこで起こるか分からないので、原点に戻ることも重要だ と考え、そうしたことを事業として実施する必要がある。
副会長	皆さんの意見も多数あり、市民センターまつりと一緒に実施していくと 思うので、まつりに参加される方々も巻き込んで実施してほしい。まつり の説明会などに団体の協力を得るようにしてほしい。まつり当日は、 ステージ演目の途中など、どこかのタイミングで避難訓練を実施しては どうか。テント宿泊された方々からは、必ずアンケート調査を実施する ことにより、必要な備蓄品など「いざ」の時のための物が浮かび上がっ てくると思う。
議長	【７．その他】 その他について事務局より説明を求める。
事務局	今回の意見を集約し、次回、絞り込んだ案を複数示すよう努める。 併せて、事業の具現化のため関係課や学校などとの連絡調整を図ってい く。
議長	議事が終了し、進行が事務局へ返却となる旨を報告。 【８．閉会】 (8-4)
議事の顛末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。	
令和8年6月30日	
署名者の職・氏名	粕壁地区地域づくり推進協議会 委員　五十嵐　真